

ドラム式電気洗濯乾燥機

業務用/屋内専用

取扱説明書

据付編

形名

ES-HD63R

設置される方へ

この取扱説明書(据付編)を必ずお読みになり、正しく設置してください。

設置の前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

不具合のないことを確かめてからオーナー(管理者)の方にお渡しください。

同梱の付属品(本書に記載)をお確かめのうえ、「輸送用固定ねじ」をオーナー(管理者)の方にお渡しください。

オーナー(管理者)の方へ

この取扱説明書(据付編)は、移設や配管清掃後などの再設置に備えて、「輸送用固定ねじ」とともに必ず保管してください。

もくじ

ページ

準備と確認

●持ち運びかた	表紙
安全上のご注意 必ずご確認ください	2
各部のなまえ	3
●各部のなまえ	3
●付属品	3
据え付け前の確認	4
●寸法図	4
●据付場所	4
●設置寸法	5
●排水口の位置	6
●水栓を確認する	7
●電源とアース線	7

据付と移設

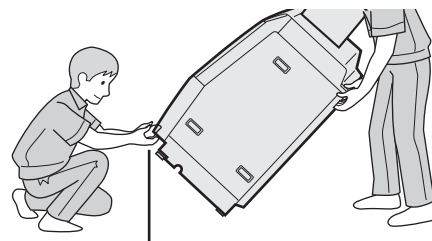
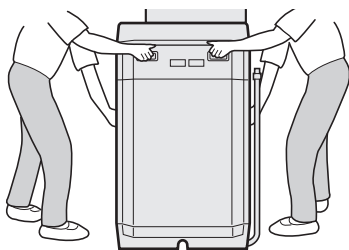
据え付ける	8
●1：排水ホースの取り出し方向を変える	8
●2：輸送用固定ねじをはずす	8
●3：排水口に接続する	9
●4：がたつかないように調整する	11
●5：給水ホースを取り付ける	11
試運転する	13
●1：洗剤ポンプの準備	13
●2：洗剤ポンプ試運転	14
●3：洗濯機の試運転	15
●4：必要に応じて	16
移設のとき	裏表紙

持ち運びかた

移動させるときは

- 輸送用固定ねじを付けてください。
【外槽が傷付く原因】
- ドアはテープで固定してください。
【ドアが開き、壁などが傷付く原因】
- 床の傷付きなどにもご注意ください。

2人以上で持ち運ぶ



下にも「取っ手」があります

安全上のご注意

人への危害、財産への損害を防ぐため、お守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使いかたで生じる内容を次のように区分して、説明しています。

	警告 「死亡または重傷を負うおそれがある」内容。
	注意 「軽傷を負う、または財産に損害を受けるおそれがある」内容。

■ お守りいただく内容の種類を次の図記号で説明しています。

	してはいけないこと。
	しなければならないこと。

警告 火災や感電、けがを防ぐために

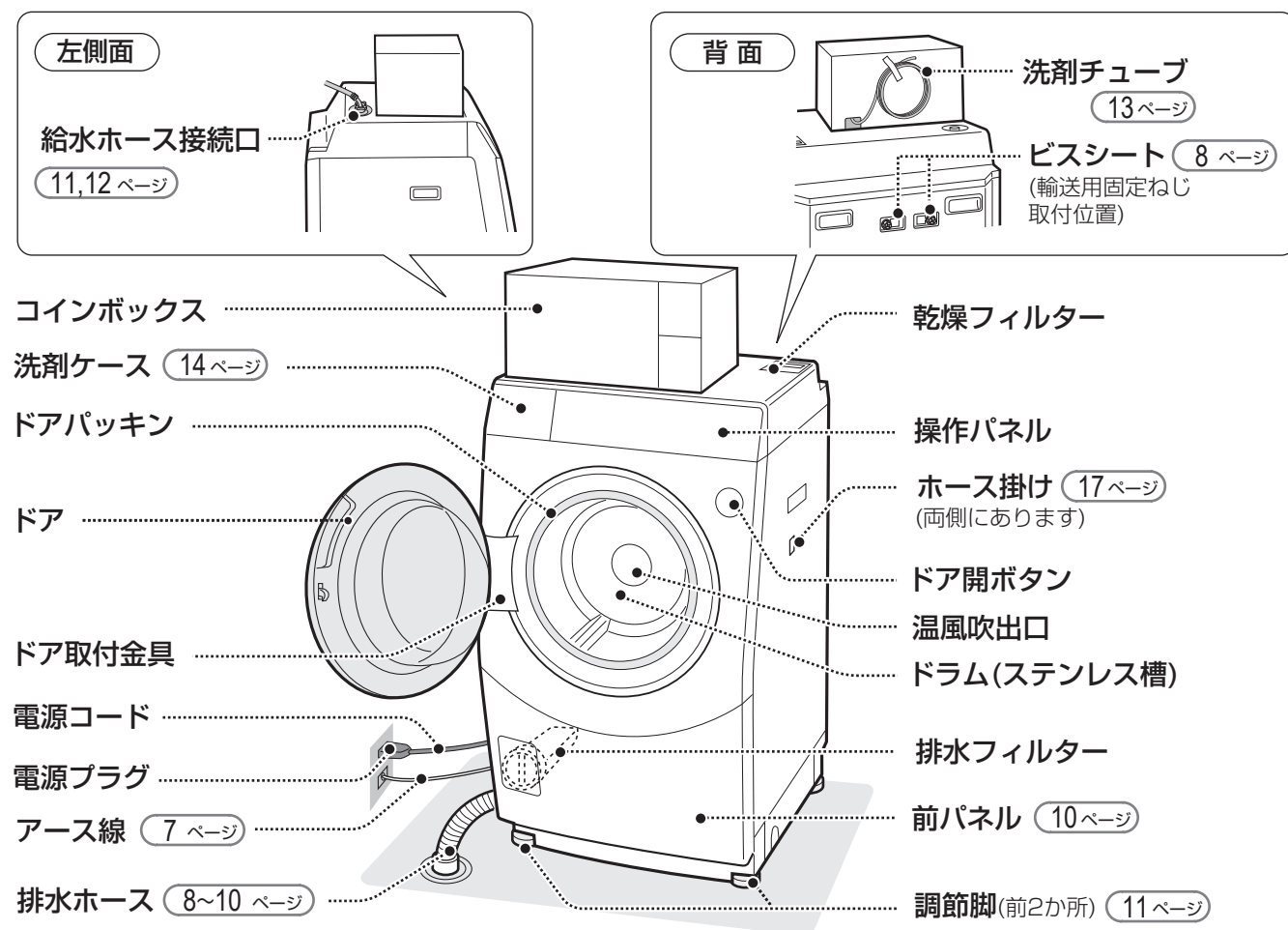
 プラグを抜く	移動や設置の際は必ず電源プラグをコンセントから抜く (感電やけがの原因)	 アース線接続	アースを確実に取り付ける (故障や漏電のときに感電の原因)
	電源プラグは、ぬれた手で抜き差ししない (感電やけがの原因)		浴室など湿気の多い所や風雨にさらされる場所に置かない ● この洗濯機は室内用です。必ず屋内に設置してください。 (感電や漏電による火災や故障の原因)
	交流100V、定格15A以上のゆるみがないコンセントを単独で使う (電源や定格が異なったり、他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火の原因)		引火物を本体の中に入れたり、近付けない ● 灯油・ガソリン・シンナー・アルコールなどをドラムの中に入れたり、それらの付着した衣類を洗濯、乾燥しないでください。 (爆発や火災の原因)

注意 漏電やけがを防ぎ家財などを守るために

	運転中は、本体の下に手足などを入れない ● とくに、置台などを使用すると床面とのすき間が大きくなります。ご注意ください。 (電気部品・回転部があり、けがや感電の原因)
	給水ホースの接続を定期的を確認する (長期で使用による接続部のゆるみなどで、水漏れして思わぬ被害を招く原因)

各部のなまえ

各部のなまえ

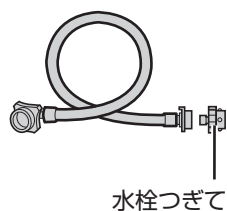


ドアについて

- ドア開ボタンを押すと開きます。閉めるときは、ドアをしっかり押してください。
- ドアを開閉するときには、ドア取付金具(ヒンジ部)の近くに手を置かないでください。
【けがの原因】

付属品

- ・給水ホース(1組)
長さ0.8m
(11,12 ページ)



- すべて同じ袋に入っています
- ・鍵(2個：コインケース用) (オーナー編)
 - ・ビスシート(2枚) (8 ページ)
 - ・ボタン隠しラベル(4枚) (オーナー編)
 - ・ドア説明ラベル(1枚：セキュリティロック設定用) (オーナー編)
 - ・オプションラベル(1部：乾燥時間・料金変更用、コース取り消し用、セキュリティロック設定用) (オーナー編)
 - ・センザイシヨウラベル(1部：洗剤ケース使用時用、ドラム洗浄コース取り消し用) (オーナー編)
 - ・エラーラベル(1部：エラー表示説明用) (16 ページ)
 - ・保証書(1部)

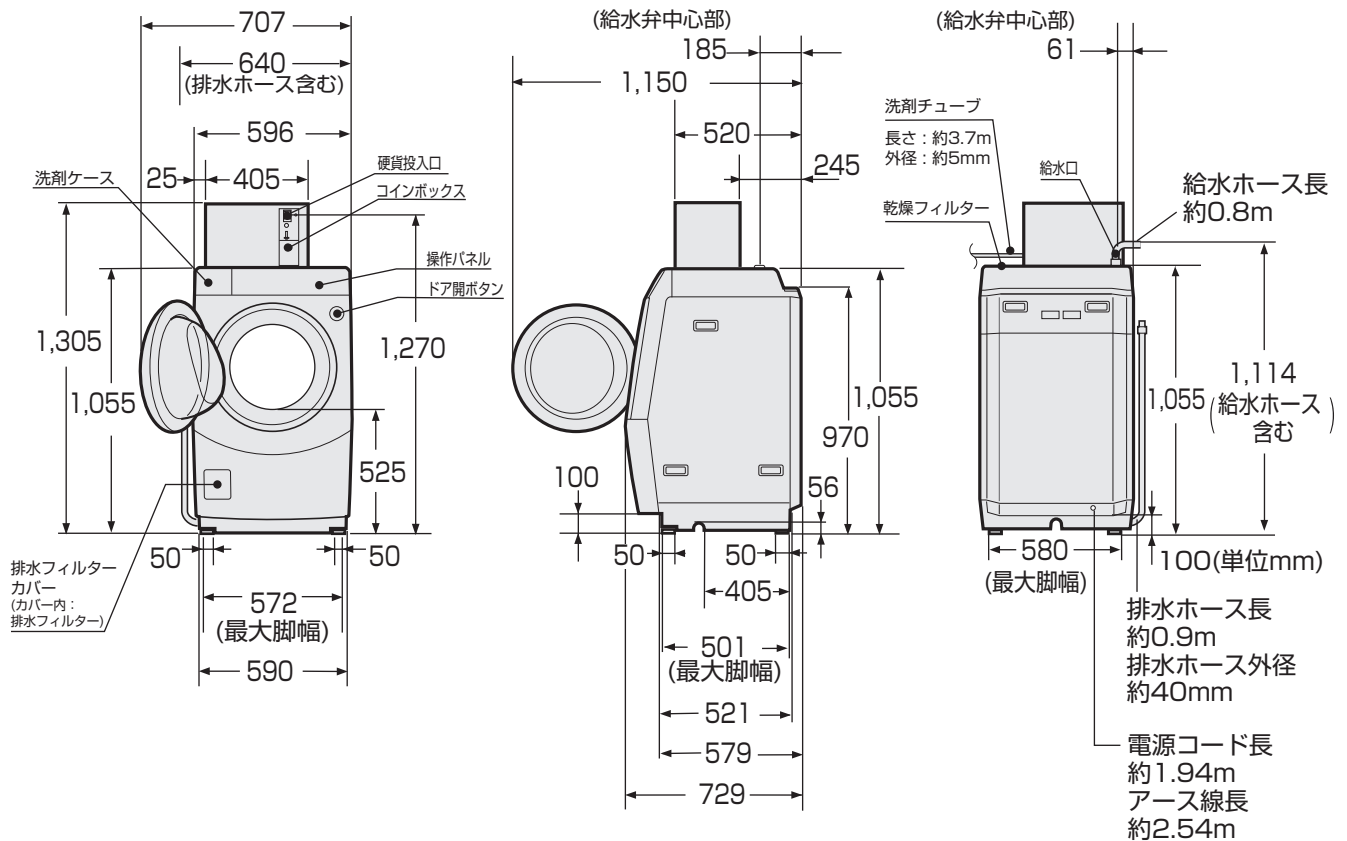
洗剤容器用 (13 ページ)

- ・ふた(1個)
- ・おもり用ナット(2個)
- ・T型ジョイント(1個)
- ・結束バンド(1本)

据え付け前の確認 1

寸法図

(単位mm)



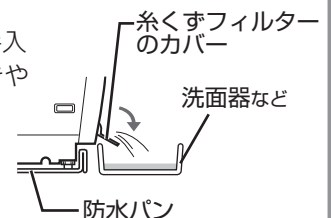
据付場所

● 次のような所には置かない

- 凍るおそれのある所
【残水の凍結による故障や異常動作、異音等の原因】
- 直射日光の当たる所【紫外線でプラスチックが傷み破損したり、変形や故障の原因】
- タイルなどのすべりやすい床、ベランダや弱い床、平らでない所、カーペットの上
【振動や騒音が大きくなったり床を傷める原因】
- ブロックやレンガ、角材の上やキャスター付きの台など不安定な所
【振動や騒音、本体が転倒してけがの原因】

● 防水パンに設置する場合、できるだけ前に寄せる

- 排水フィルターのお手入れの際、水受けが置きやすい。**本編**



- ラジオ、テレビなどは本体からできるだけ離す(約3m以上)
【雑音や映像の乱れの原因】

設置寸法

壁の傷付き防止や点検のために

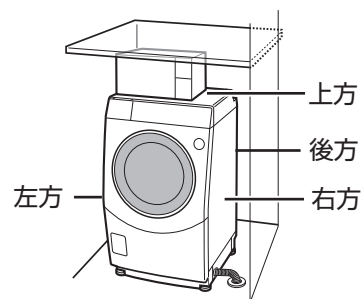
- 壁から1cm以上離し、前方は開放する。
- 排水口側は9cm以上離す。真下排水するときは1cm。
- 水栓や水栓つぎてからも離す。

- 「消防法 設置基準」に基づく試験基準に適合しております。

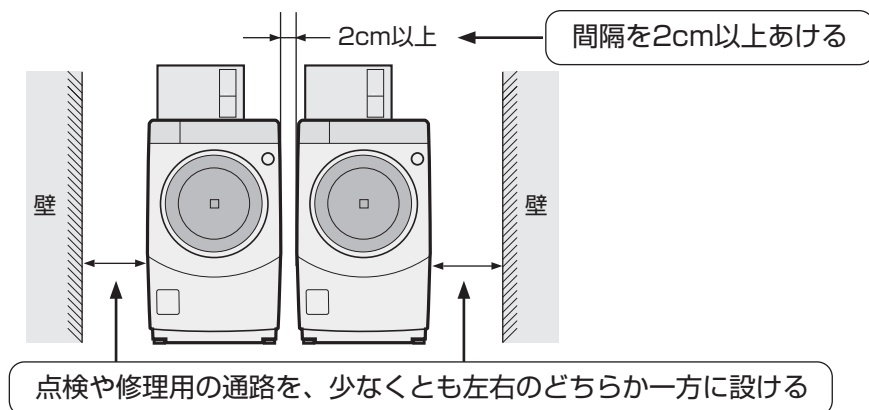
建築物の可燃物などからの離隔距離は、右表に掲げる値以上の距離が必要です。

消防法 基準適合 組込形

場 所	離隔距離 (cm)
上 方	0
前 方	開 放
後/右/左方	1
下 方	0

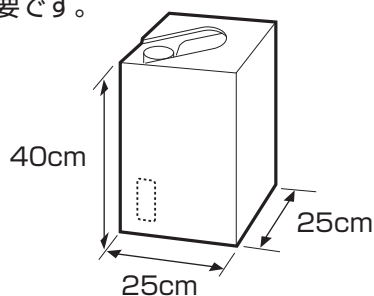


- 2台以上並べて使用する場合

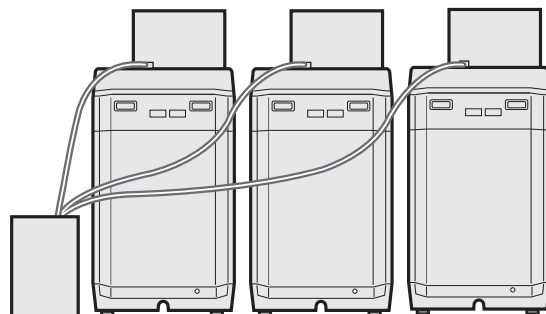


洗剤容器の設置について

- 洗剤容器を設置するために、右図のスペースが必要です。



- 洗剤容器1個につき、3台まで使用できます。



ご注意

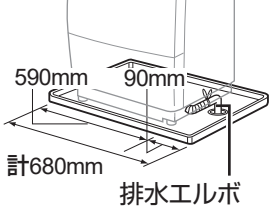
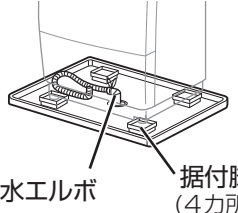
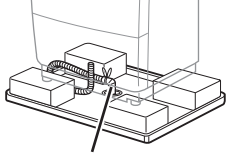
- 洗剤容器は、洗濯機本体より高い場所に置かないでください。洗剤の流出が止まらなくなる可能性があります。
- 洗剤容器は、高温になる所や直射日光が当たる所には保管しないでください。

据え付け前の確認 2

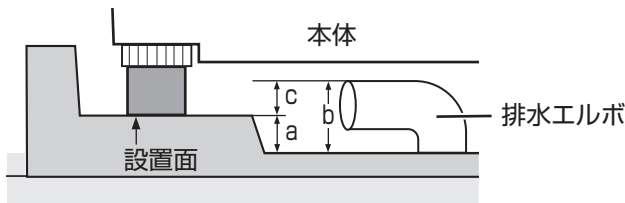
排水口の位置

防水パンを使用する場合：排水口の位置と防水パンの種類により、別売品が必要になる場合があります。
 床に直置きする場合：排水口が本体の真下にあるときは、別売品が必要です。
 ● 別売品のご購入については、お買いあげの販売店にお問い合わせください。

※1 脚の高い防水パンを使用する場合は、安全のためカバー付きのものをご使用ください。

排水口の位置	本体の真下以外		本体の真下			
使用可能な防水パン	防水パン 内寸幅 680mm以上		台のない防水パン 内寸幅 600mm以上		台付きの(四隅が高い)防水パン※1 内寸幅 590mm以上	
						
排水エルボ	あり	なし	あり	なし	あり	なし
必要な別売品など	(不 要)		据付脚	真下排水 つぎてセット (据付脚同梱)	下記条件により 脚スペーサー または据付脚が 必要な場合が あります	市販の 排水エルボ

排水エルボが設置面より15mm以上高い場合は、高さ調整が必要です



排水エルボの高さ(b)と設置面の高さ(a)の差(c)によって排水ホースと本体のすき間を確保するため、高さ調整が必要です。
 下表を参考に、別売の「脚スペーサー」や「据付脚」で調整してください。



c寸法(c = b - a)	15mm未満	15mm以上 24mm未満	24mm以上 42mm未満	42mm以上 51mm未満
脚スペーサー(+9mm)	—(不要)	○(必要)	—(不要)	○(必要)
据付脚(+27mm)	—(不要)	—(不要)	○(必要)	○(必要)

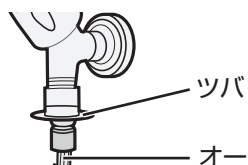
※2 固定脚に取り付けて使う。重ねると9mmまで調節可。調節脚で高さを調整して水平に設置する。(11ページ)

水栓を確認する

適した水栓

洗濯機専用水栓をご使用ください。

- オートストッパー付きの水栓をおすすめします。



- 水栓のイラストは例示です

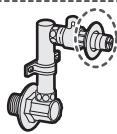
- 日本電機工業会規格JEM1206準拠の水栓をご使用ください。ご不明な場合は水栓メーカーにお問い合わせください。
- 水栓にレバーをかけるツバのないものは使わないでください。【水漏れの原因】
- 埋め込み水栓には、日本電機工業会規格JEM1206対応であっても、レバーが確実にかけられなかったり、しっかり差し込めない場合があります。水栓メーカーにお問い合わせください。

水栓の位置

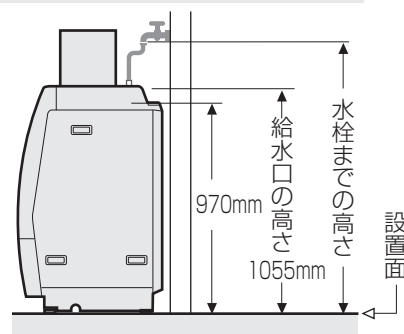
壁に沿わせて設置する場合、水栓の位置によっては、給水ホースとの接続位置を高くするための、市販の水栓が必要になる場合があります。

設置面から水栓までの高さ	(接続位置を高くするための)市販の水栓
1200mm以上	不要
980mm以上 1200mm未満	水栓の種類によっては必要
980mm未満	必要(場合によっては設置不可)

市販の水栓：例



必ず、給水ホースのレバーを受けるツバのあるものをご使用ください。



電源とアース線

- 本機1台につき交流100V、定格15A以上で使用する
- アース工事(D種接地工事)をしたコンセントを使用し、本機のアースを確実に取り付ける
- アース線を接続するときは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で接続する

ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。(法令で禁止されています)



- 水気や湿気の多い所に設置する場合は、必ずアース工事(D種接地工事)をするように法律で義務付けられています。水気のある場所では、漏電遮断器の取り付けも義務付けられています。

据え付ける 1

1：排水ホースの取り出し方向を変える（必要に応じて）

① 背面を下に向けて静かに倒す

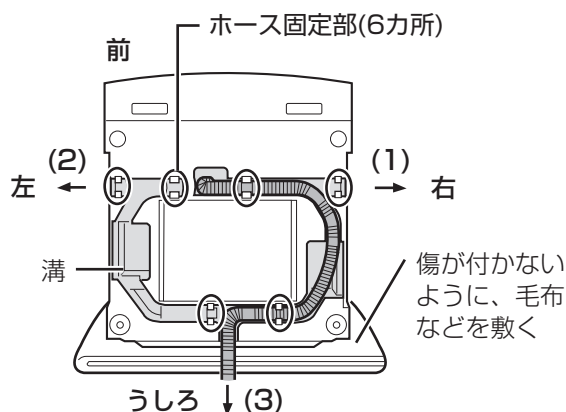
必ず輸送用固定ねじを付けて倒す

【付けずに倒すと、内部の機構部品が破損したり、水漏れの原因】

- ホース内に製品検査用の水が残っていることがあります。作業中に流れないようにご注意ください。

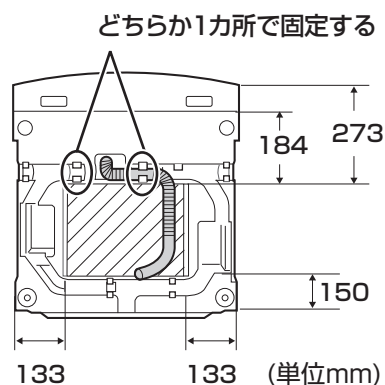
② 排水口の位置に合わせて、取出口(1)～(3)から取り出し、ホース固定部○で固定する

③ 静かに本体を起こす



排水ホースを本体の横から出さずに接続する場合

- 斜線部以外の位置に排水エルボなどがある場合、本体に当たって接続できないことがあります。



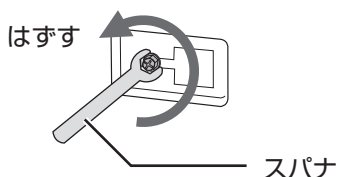
2：輸送用固定ねじをはずす

● 輸送用固定ねじ(2本)は必ず取りはずす【はずさないで激しく振動して故障する原因】

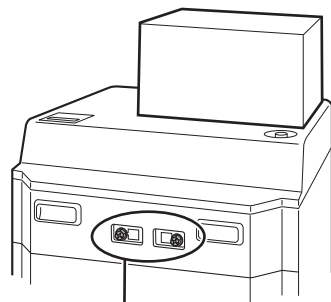
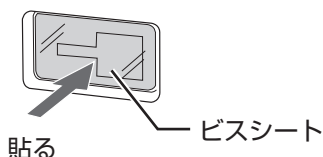
取りはずした輸送用固定ねじは、移設の際に必要です。必ず保管してください。

① 輸送用固定ねじ(2本)をはずす

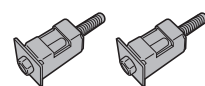
- 市販の六角スパナ(13mm)やモンキーレンチなどをご使用ください。



② 輸送用固定ねじをはずした穴(2カ所)に付属のビスシートを貼り付ける (手や指が入ってけがをするのを防ぐため)



輸送用固定ねじ(2本)

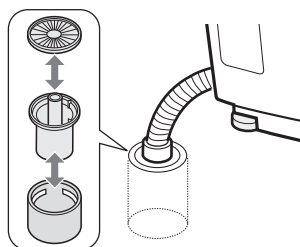


3：排水口に接続する

- 据え付け前に必ず排水口を掃除する

【排水が悪くなったり異臭の原因】

- 設置後も定期的に掃除してください。



- 排水ホースを本体や脚で敷き込まない
また、排水ホースが排水口から抜けないう、
しっかり接続する

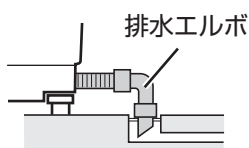
【接続不十分の場合、ホースが抜けて水漏れの原因】

- 水が流れやすいように排水口に接続する

【排水が悪いと、排水時間がかかる、運転が途中で止まる、排水フィルターをはずすときに多量の水が出る、洗剤投入ケースから水漏れする原因】

- 排水ホースを本体や脚で敷き込まないまた、強く折り曲げない。
 - 排水ホースが排水口から抜けないう、しっかり接続する。
- 【接続不十分の場合、排水ホースが抜けて水漏れの原因】

- 排水ホースが折れ曲がるときは、
市販の排水エルボで折れ曲がりを防ぐ



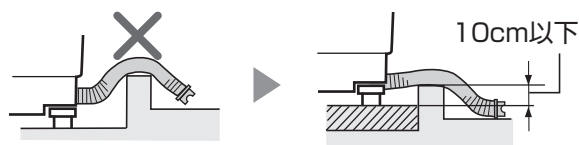
- 排水ホースが短いときは、
延長用排水ホース(別売品)を使う



- 延長用の排水ホースは、内径3cm以上、長さ1.5m以下のものをご使用ください。(延長後の長さは3m以内)

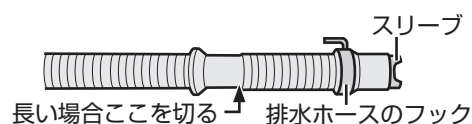
- 設置面からの排水ホースの高さは、必ず10cm以下にする

【ホースの位置が高いと運転が止まる原因】



ホースを切って
短くする

排水ホースを切るときはくびれた部分で
切って、スリーブを差し替える



据え付ける 2

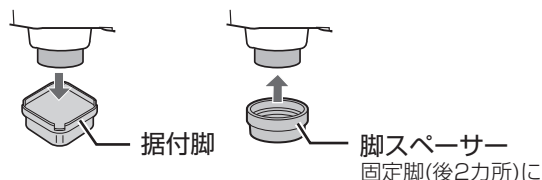
3 : 排水口に接続する (つづき)

真下排水のしかた

接続前に、必要な別売品などを確認のうえご準備ください。 6 ページ

1

必要に応じて、据付脚 または 脚スペーサーを使う
(排水ホースが機構部に触れて破れるのを防ぎます)

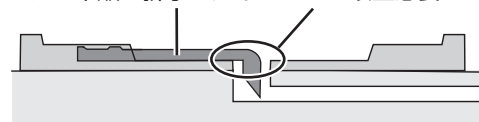


2

真下排水つぎて または 市販の排水エルボが必要な場合は、排水口にセットする

- 真下排水つぎてが長い場合は、くびれた部分で切る。

真下排水つぎて または 市販の排水エルボ 排水口の径は 4cm以上必要



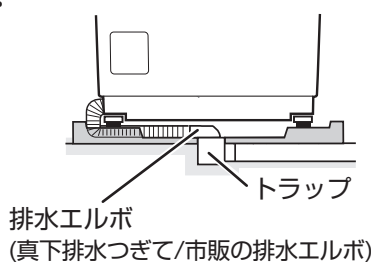
3

- ① 本体を設置し、排水口の位置に合わせて排水ホースを切る
- ② 排水エルボ(または 真下排水つぎて・市販の排水エルボ)に接続する

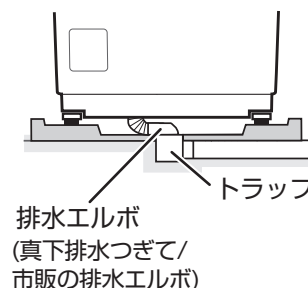
前パネルと回路ユニットをはずし、内部で排水口に接続する

- 作業中、手や排水ホースが、機構部に触れないよう、ご注意ください。
【けがやホースが破れる原因】

本体の横から取り出して接続する場合

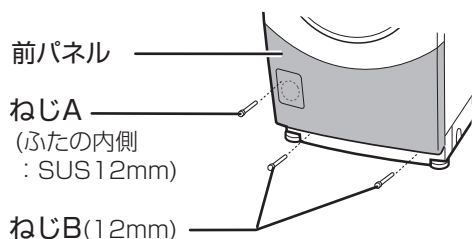


本体の横から出さずに、接続する場合

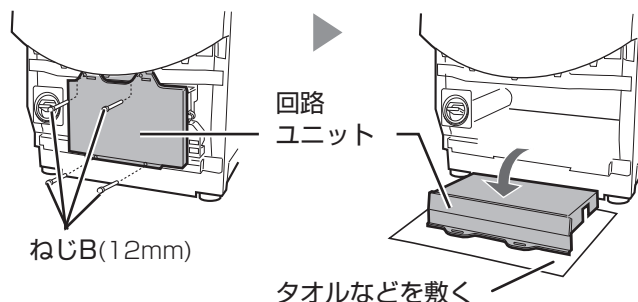


前パネル・回路ユニットのはずしかた (作業スペースが狭いときなどに)

- ① (ねじA・Bをはずして) 前パネルをはずす



- ② (ねじBをはずして) 回路ユニットを手前に倒す



- ③ 作業後は、逆の手順で組み立てる。はずしたねじは必ず元の位置に取り付ける

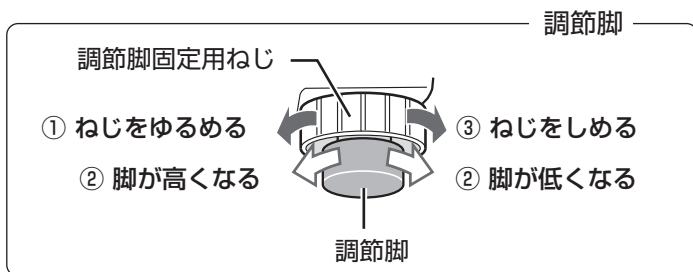
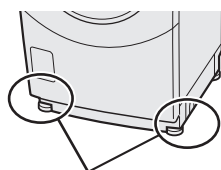
【間違えて取り付けると、ねじがゆるみ、騒音や故障の原因】

4：がたつかないように調整する

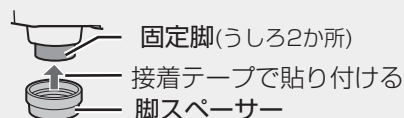
- がたつきをなくし、水平に設置する【がたつきや傾きは大きな振動や運転途中停止の原因】
 - ・ 設置後は本体上部の対角を押さえながら揺り動かし、がたつかないことを確認する。

調節脚(前2カ所)で高さを調節できます

- ① 調節脚固定用ねじをゆるめる
 - ② 回して脚の高さを調節する
 - ③ 調節脚固定用ねじで確実にしめ付ける
- 【しめ付け不足は振動の原因】



調節脚だけで調整できない場合は、脚スペーサー(別売品)で固定脚(うしろ2カ所)を調節してください。



- 重ねる場合は3mmを下にします。(逆にするとすき間ができる)



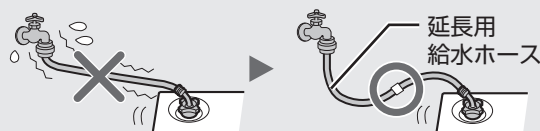
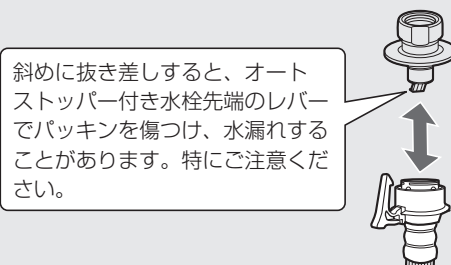
5：給水ホースを取り付ける (取り付けかたは 12ページ)

給水ホースを取り付ける前にご確認ください

ご注意

給水ホースは、正しく取り付けないと、水漏れの原因になります。
以下にご注意ください！

- 給水ホースや水栓つぎては、付属の新品か別売品を使う。(3ページ)
 - ・ すでに付いている場合も新しいものに取り替えてください。
- 取り付け前に、水栓の先端を確認する。
 - ・ 汚れなどが付着している場合は、取り除いてください。
 - ・ 先端に傷やさび、メッキのはがれなどがある場合は、新しいものに取り替えてください。
- ホースの抜き差しは、まっすぐ、ゆっくりとおこなう。
 - ・ 水漏れの原因となるホース内のパッキン(黒)の傷付きやねじれを防ぎます。
- ホースや接続部分などに、無理な力がかかったり、折れ曲がりがないように取り付ける。
 - ・ ホースが短い場合は、別売の延長用給水ホースで延長してください。



据え付ける 3

注意



給水ホースの接続を定期的に確認する

【長期で使用するによる接続部のゆるみなどで水漏れして思わぬ被害を招く原因】

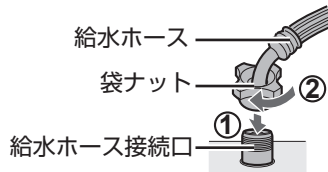
5: 給水ホースを取り付ける (つづき)

給水ホースは付属の新品を使う。
【水漏れの原因】

1

本体側に給水ホースを接続する

- ① 袋ナットと給水ホース接続口を傾きがないように水平に合わせる。
- ② 給水ホースが動かないように片手で押さえて、袋ナットを強く締め付ける。



- 給水ホースを回して追い締めをしない。
【過度な締め付けによる水漏れの原因】

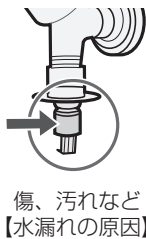
2

水栓側に給水ホースを接続する

接続前に

水栓先端に傷や汚れなどがないことを確認する

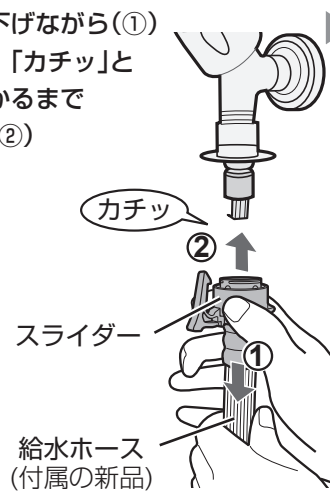
- 汚れが取れなかったり傷やさびがある場合は水栓を取り替えてください。



水を含ませたやわらかい布で先端を軽くぬらす

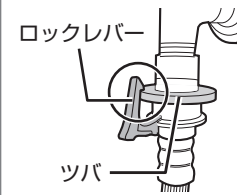
- ホース内のパッキン(黒)のすべりをよくして、ねじれを防ぎます。

スライダーを引き下げながら①水栓側にまっすぐ、「カチッ」とロックレバーが掛かるまでゆっくり差し込む②



接続後は

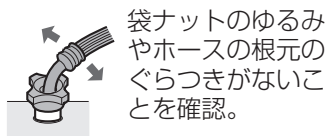
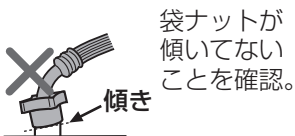
ロックレバーが、水栓側のツバに確実に掛かっていることを確認してください。



3

取り付け具合を確認・点検する

本体側 ● 給水ホース接続部の傾き・ぐらつき・ゆるみがないか確かめる。【水漏れの原因】



水栓側 ● ホースを引っ張り、傾き・ぐらつき・ゆるみなどがなく取り付けられていることを確かめる。

- 水栓を開け、水漏れしないか確認する。水漏れしたときは、給水ホースをいったんはずして、取り付け直してください。(はずしかたは裏表紙)

【横水栓をご使用の場合】 水栓つぎて(付属)の取り付けかた

- すでに付いている場合も、必ず付属の新品を取り付けてください。

① ねじ(4本)をゆるめて水栓に当てる。

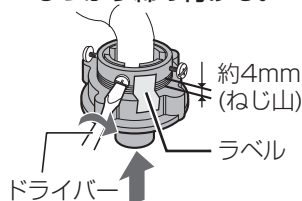
ねじを水栓の径までゆるめて、中央に押し当てる。

壁側のねじ

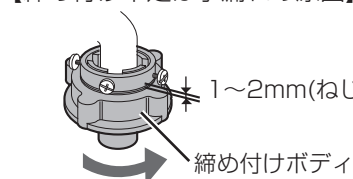
- 壁側のねじをあらかじめ調整しておくことで取り付けやすくなります。
- 水栓の径が大きい(16mm以上)ときは、つぎてリングをはずします。

つぎてリング

② まっすぐに押し当てながら、ねじを均等にしっかり締め付ける。



③ ラベルをはがし、ねじ山が1~2mm程度になるまで、締め付けボディを強く締める。



- 水栓つぎては、傾きやゆるみなく、水栓の中央にしっかり固定してください。
- 付け直すときは、ねじ山が4mm程度見える状態までいったんゆるめてください。

試運転する 1

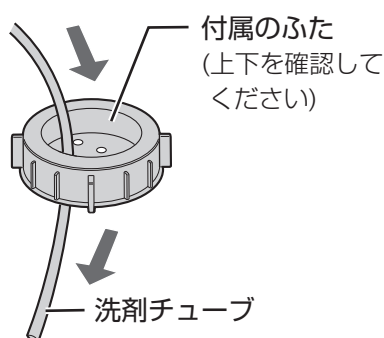
1：洗剤ポンプの準備

必ず専用洗剤をご使用ください。

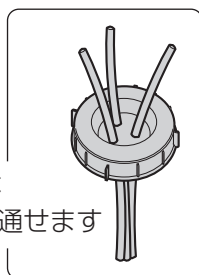
- 専用洗剤以外を使うと、コインボックス内蔵の洗剤ポンプが故障したり、液漏れするおそれがあります。また、適正な洗剤量が供給されないため、汚れ落ちやすすぎなどが悪くなったり、洗剤がなくなったことを正しく検知できなくなるおそれがあります。

洗剤チューブと洗剤容器を接続する

付属のふたに
(コインボックス裏側から出ている)
洗剤チューブを通す



チューブは
3台分まで通せます



- 洗剤チューブを切る場合、チューブの先端が洗剤容器の底に確実に届くよう、長さに余裕を持たせてください。
- 洗剤容器は洗濯機本体より高い場所に置かないでください。洗剤の流出が止まらなくなる可能性があります。

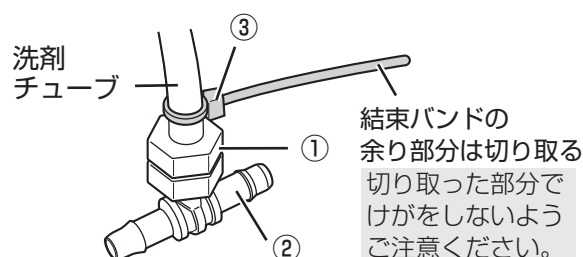
2

① 洗剤チューブの先端に付属のおもり用ナット 2個を必ず取り付ける

- おもり用ナットを取り付けないと、洗剤容器の中で浮いて、洗剤を吸い上げることができなくなります。

② 付属のT型ジョイントを取り付ける

③ ナットが移動しないように付属の結束バンドで留める



3

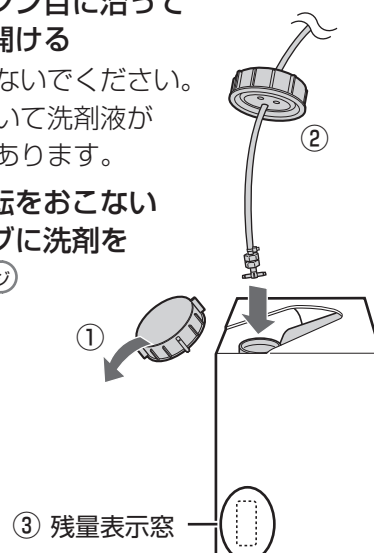
① 洗剤容器のふたをはずす

② 洗剤チューブの先端を洗剤容器の底まで確実に入れて、付属のふたを取り付ける

③ 残量表示窓をミシン目に沿って指で押し込んで開ける

- 刃物などで開けないでください。洗剤容器が傷付いて洗剤液が漏れるおそれがあります。

④ 洗剤ポンプ試運転をおこないポンプとチューブに洗剤を充填する (14 ページ)



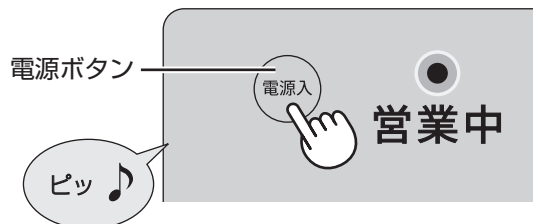
試運転する 2

2 : 洗剤ポンプ試運転

洗剤ポンプに洗剤を充填する

電源を入れて、水栓を開ける

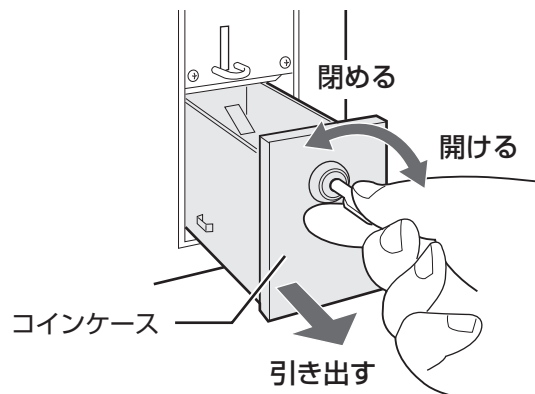
1



- 営業中ランプが点灯、ドラム洗浄ボタンやコース選択ボタンのランプが点滅します。

① コインケースをはずす

- 運転停止状態ではずしてください。



2

② 右横の穴に指を入れ、オーナースイッチを押す

- オーナーモードに入ります。



モード番号「1」を表示



① モード番号「4」を選ぶ



押すたびに番号が変わる

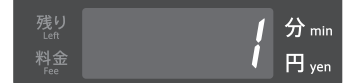


3

② 「4」を決定する

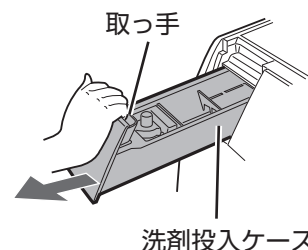


洗剤自動投入機能の「1：有効／0：無効」を表示



工場出荷時は「1:有効」に設定

本体から洗剤投入ケースをはずす



止まるまで引き出し、先端を持ち上げてははずす

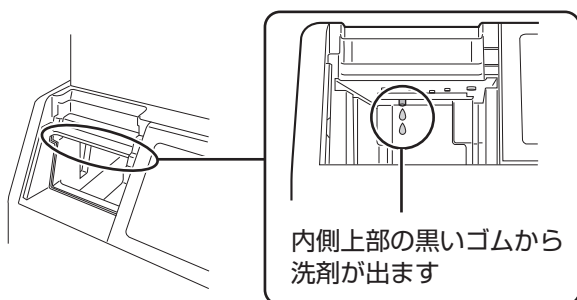
4

① 洗剤ポンプを運転する



- 押すたびに、洗剤ポンプの運転/停止が切り換わる

② 洗剤が流れることを確認する(充填完了)



- 初めて洗剤ポンプを使用するときは、1～2分かかります。(洗剤チューブに洗剤が行き渡るまでの時間)
- 洗剤を検知すると、自動的に止まります。
(洗剤検知が「無効」の場合 **オーナー編** は、3分後または、「ドラム洗浄」ボタンを押すと止まります)

洗剤投入ケースを取り付ける

先端を軽くはめ、
まっすぐに押し込む



- ① オーナースイッチを押して、
オーナーモードを終了する
- ② コインケースを取り付ける

3：洗濯機の試運転

ドラム洗浄コースで試運転をおこない、
水漏れや異常振動がないことを確認する



- ドラムには何も入れないでください。
- 運転後、ドラム内に泡が残っているときは拭き取り、もう一度ドラム洗浄コースを運転してください。
(運転後3分間はドラム洗浄コースを選ばません。すぐに運転したいときは、いったん電源を切り、入れ直してください)

必要に応じて **16ページ**

- ① 付属のエラーラベルを、洗剤ケースの下に貼る
- ② 運転回数・コイン枚数が「0」になっていることを確認する
- ③ コースの料金・乾燥時間を変更したり、
暗証番号機能(セキュリティロック機能)を設定する **オーナー編**

電源の切りかた



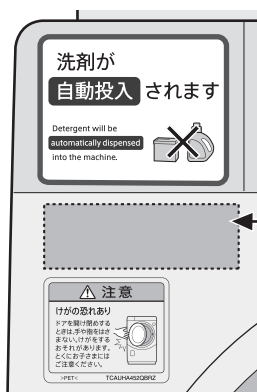
電源が切れる

試運転する 3

4：必要に応じて

ラベルの貼りかた

- エラーラベルを貼ります。
2種類のうち、オーナー(管理者)が選択したラベルを貼ってください。



この位置(洗剤ケースの下)に、どちらか1枚を貼る

【エラーラベル】

エラー表示と対処方法 Error indication and solution	
E02	ドアが完全に閉まっていません。確実にドアを閉め、選択中のコースを押して運転を再開してください。 Make sure the door is closed properly. To resume operation, press the course button with the lit LED.
E04	衣類が偏って脱水できません。ロックを解除し、衣類をばらばらしてから、選択中のコースを押して運転を再開してください。 The clothes are unbalanced and cannot spin properly. Unlock the door and loosen the clothes. To resume operation, press the course button with the lit LED.
その他のエラーが出た場合は、管理者に連絡してください。 If the machine displays any other error, please contact the administrator.	

エラー表示と対処方法 Error indication and solution	
E02	ドアが完全に閉まっていません。確実にドアを閉め、選択中のコースを押して運転を再開してください。 Make sure the door is closed properly. To resume operation, press the course button with the lit LED.
E03	排水エラーです。管理者に連絡してください。 Unable to drain. Please contact the administrator.
E04	衣類が偏って脱水できません。ロックを解除し、衣類をばらばらしてから、選択中のコースを押して運転を再開してください。 The clothes are unbalanced and cannot spin properly. Unlock the door and loosen the clothes. To resume operation, press the course button with the lit LED.
その他のエラーが出た場合は、管理者に連絡してください。 If the machine displays any other error, please contact the administrator.	

>PET< B446

上のラベル

- ・「E02(ドア開エラー)」
 - ・「E04(衣類片寄りによる脱水停止エラー)」
- の対処方法を
利用者にお知らせする

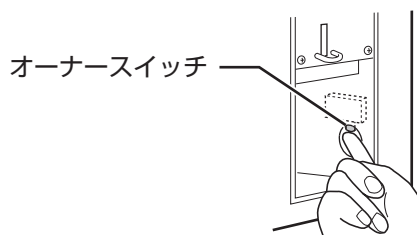
下のラベル

- 「E02」「E04」に加え
- ・「E03(排水エラー)」
- の対処方法もお知らせする

運転回数・コイン枚数の確認のしかた

- ご使用前に各コースの運転回数・コイン枚数が「0」であることをご確認ください。
(ドラム洗浄コースは除く)
- まれに、製品検査時の運転テストの運転回数・コイン枚数が残っていることがあります。
その場合は、運転回数とコイン枚数をリセットしてからご使用ください。

オーナースイッチを押す



1

モード番号「1」を表示



「1」を決定する



2

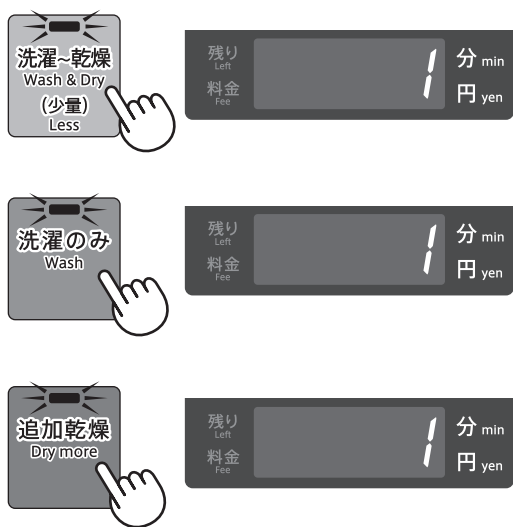
洗濯～乾燥(標準)コースの
運転回数を表示



内容を確認する

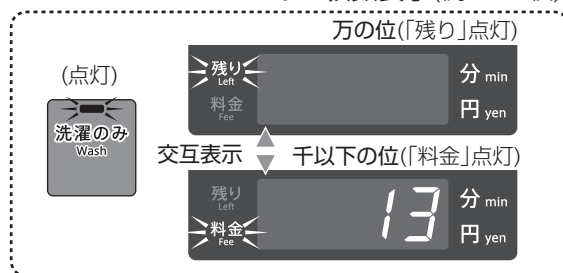
① 他コースの運転回数を確認

- 確認したいコースのボタンを押します。



② コイン枚数・コイン積算枚数を確認

コイン枚数表示(例: 13枚)



コイン積算枚数表示(例: 20枚)



運転回数・コイン枚数が「0」の場合

手順5に進む

運転回数・コイン枚数が「0」でない場合

① 運転回数とコイン枚数をリセットする

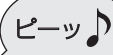
- 各コースの運転積算回数とコイン積算枚数は、リセットされません。



を押しながら



を押す



▶ リセット完了

② 手順3に戻り、リセットしたことを確認する

① オーナースイッチを押して、オーナーモードを終了する

▶ 通常表示(コース選択待機状態)に戻る

② コインケースを取り付ける

移設のとき

給水ホース・輸送用固定ねじ・排水ホースについて

● 移設の際、必ずおこなってください

- 給水ホース内の水圧を抜いてから、給水ホースをはずす。(はずすときに水が飛び散るのを防ぐ)
- 輸送用固定ねじを取り付けてから、移動する。(移動中の外槽の傷付きを防ぐ)
- 排水ホースをホース掛けに掛け、ガムテープなどで固定する。
(移動中に排水ホースが倒れ、ホース内の残水で床を濡らすのを防ぐ)

給水ホースのはずしかた

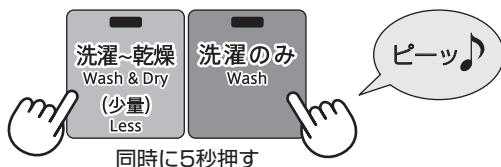
給水ホース内の水圧を抜く

① 水栓を閉じる



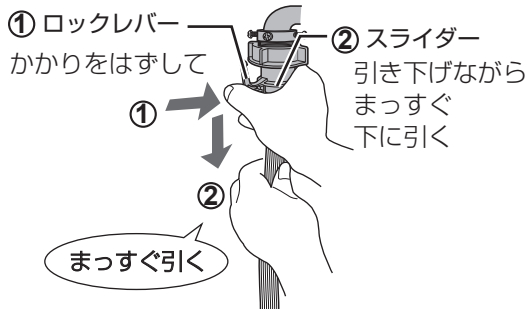
- 「ドラム洗浄」ボタンが「無効」設定の場合
「オーナー編」は、「槽洗浄 本編」を15秒程度運転してください

③ 電源を切る



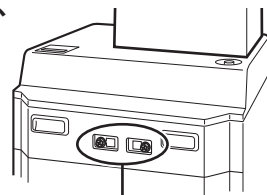
給水ホースをはずす

- ホース内に水が残っているので容器などで受けてください。



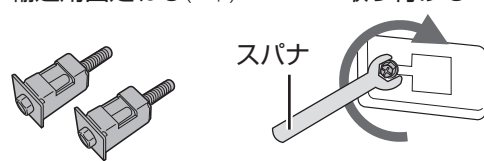
輸送用固定ねじの取り付けかた

ビスシートをはがし、
13mmスパナで
輸送用固定ねじ(2本)
を取り付ける

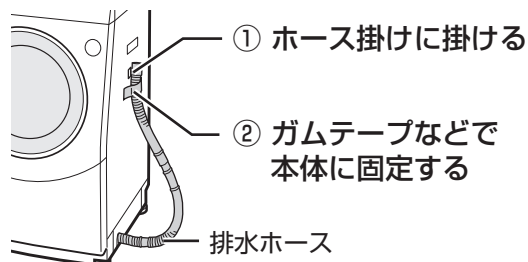


輸送用固定ねじ(2本)

取り付ける



排水ホースの処理のしかた



- ホース掛けは左右にあります。
- 切断した場合など、ホースが短くホース掛けに掛けられないときは・・・
⇒ 本体を傾けてホース内の残水を抜いてから、ホース先端を雑巾などでふさぎ、排水ホースを立てた状態にして、ガムテープなどで本体に固定してください。